



遠絡統合医学

Cコースセミナー

上位中枢性疾患の理論と臨床

講師：柯尚志医師（遠絡医学創始者）

第2日目（全4日間）

JMAI

一般社団法人 日本遠絡統合医学会

下位脳

下位脳

yBD面の関係 (下位脳)

yDCとyBC→両手の面

yADとyAB→両足の面

6つの点 (縦方向2点、横方向4点)

12本の線 (横4本、縦陽側4本、
縦陰側4本)

8つの面 (縦陽側4面、縦陰側4面)

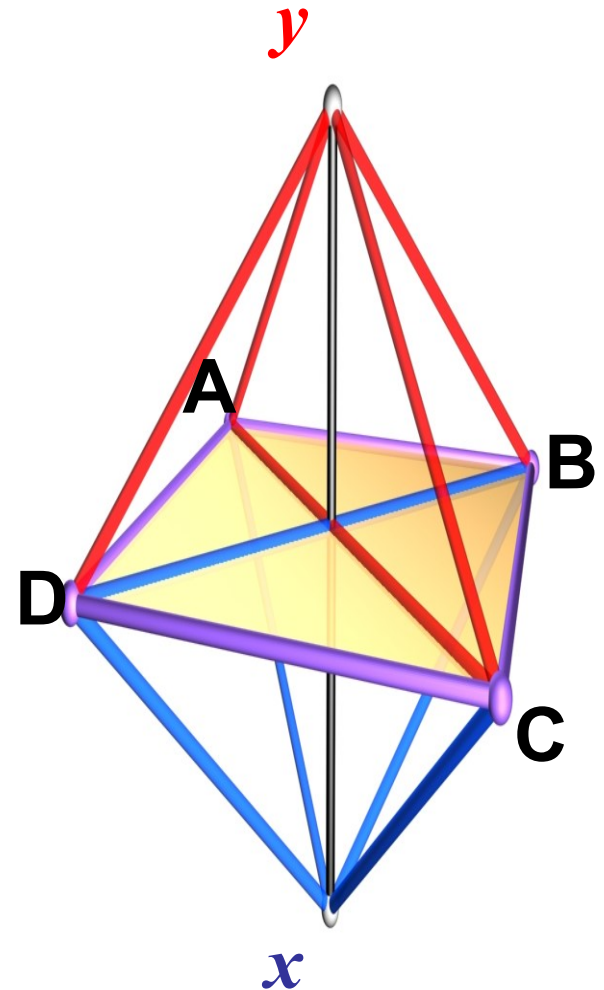
無極

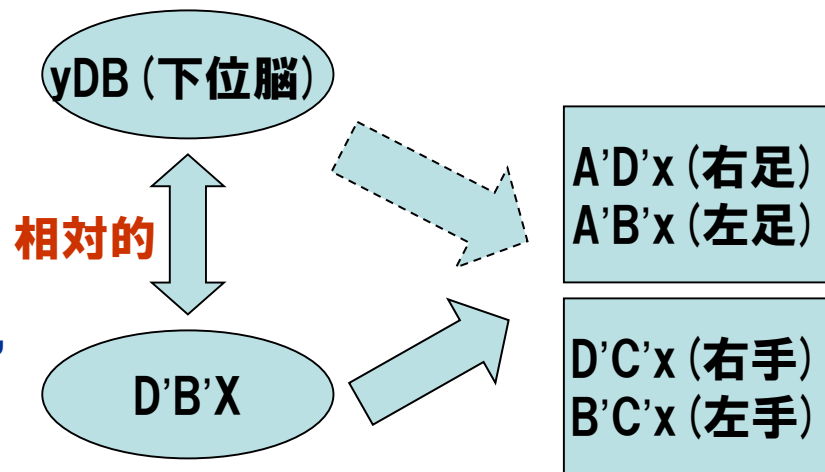
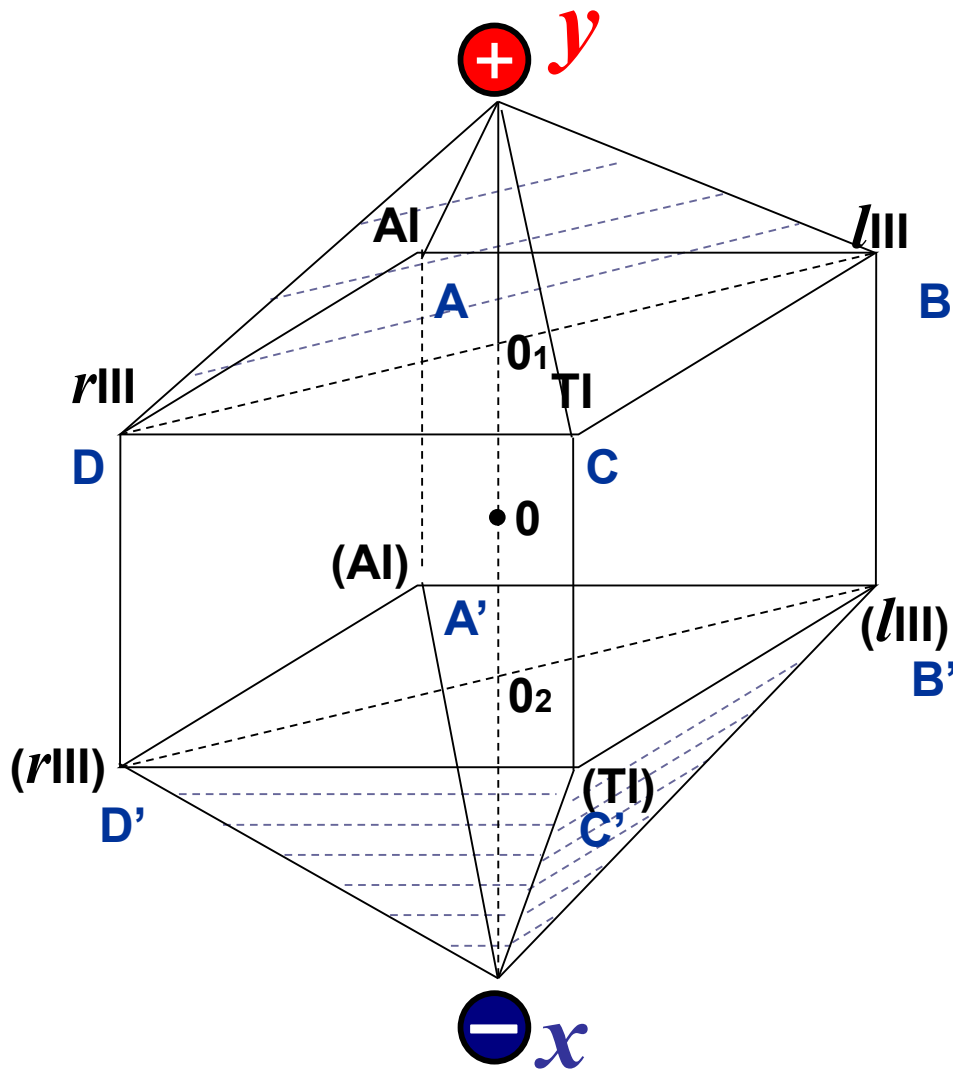
太極

両儀

四象

八卦

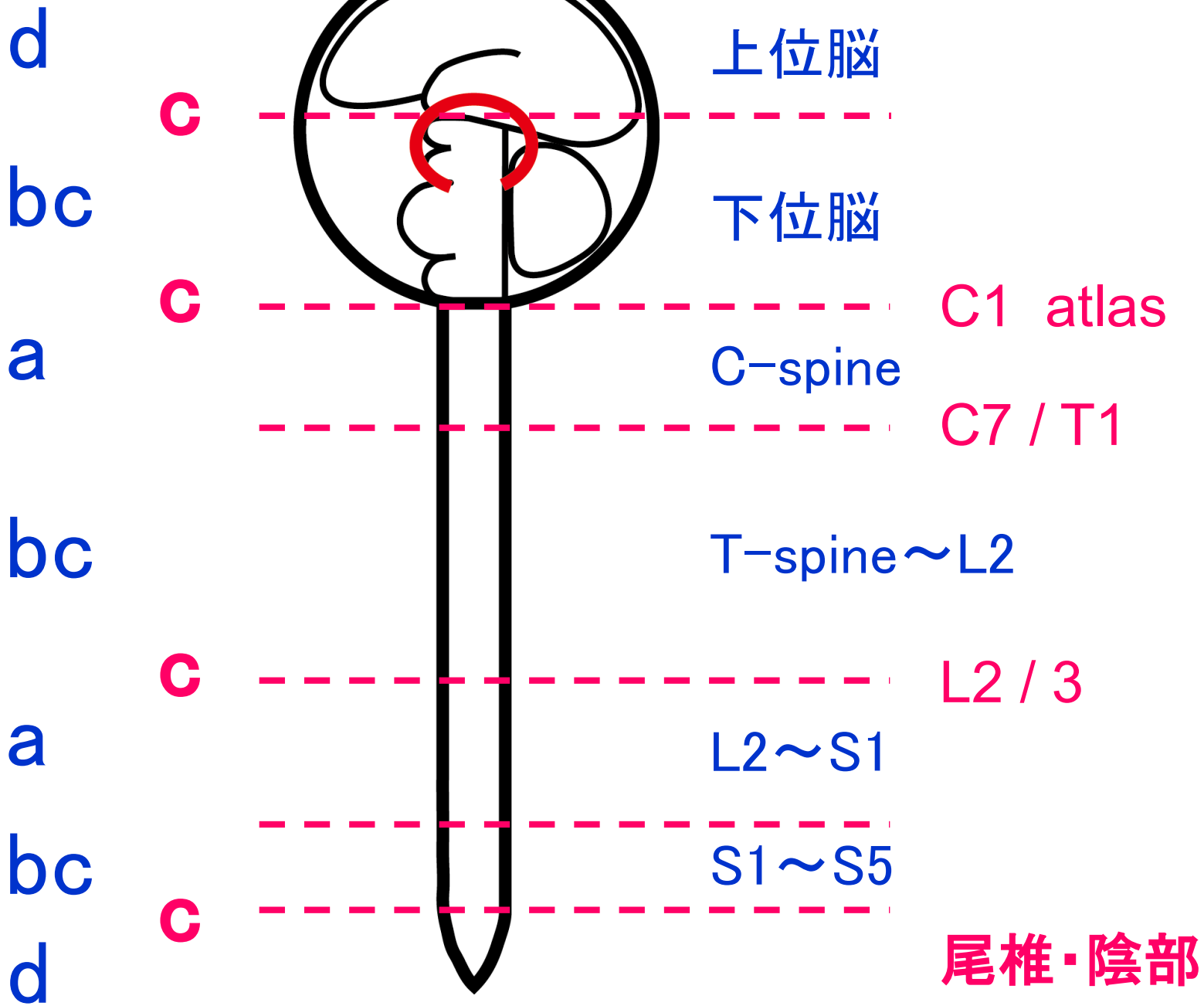




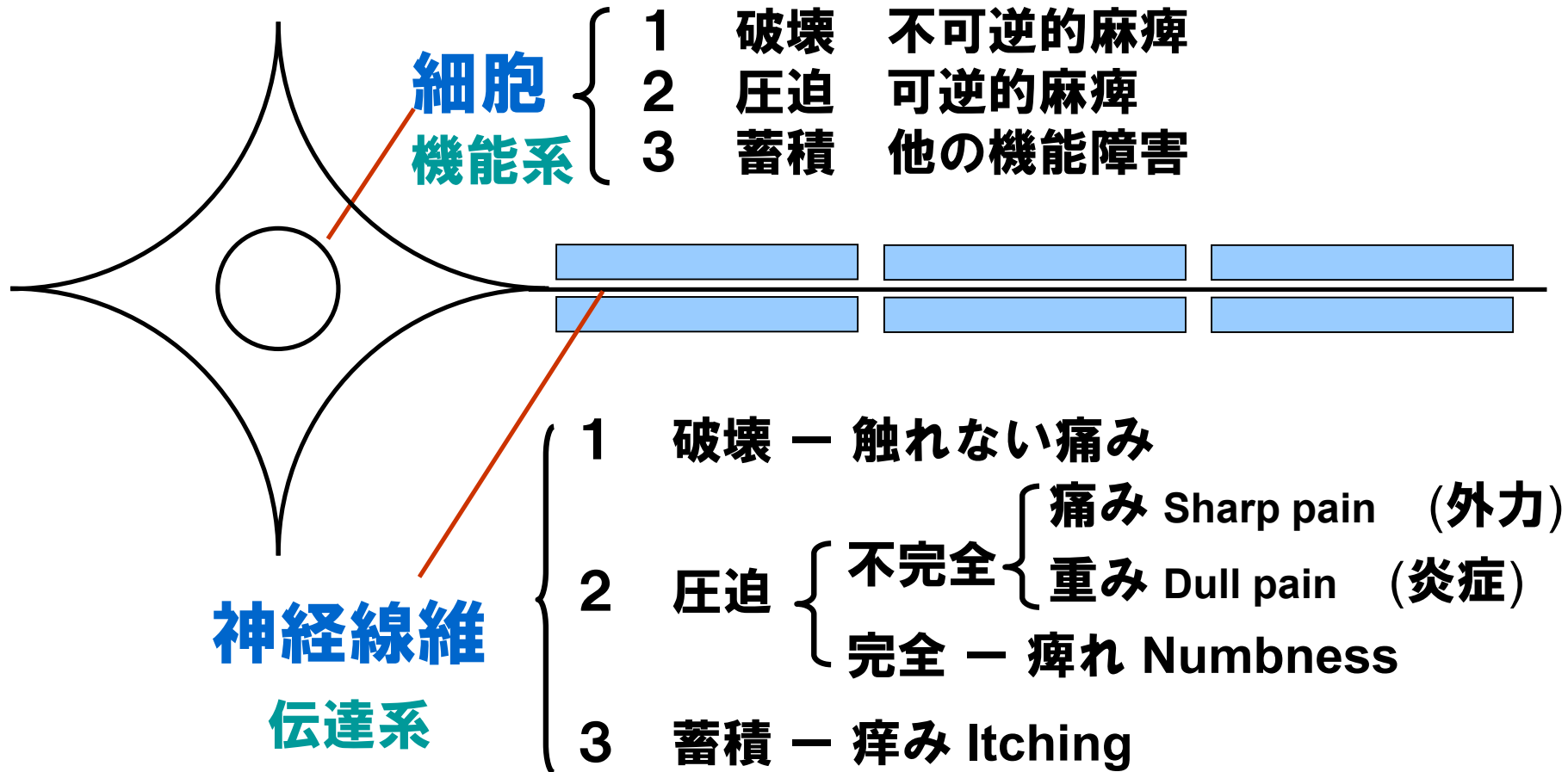
症状と病態

下位脳の状態の発生機転

- ① **原発性の炎症** 症状
- ② **Atlasの炎症** を起点として波及した症状
- ③ **Atlas Ayll 遮断** による蓄積症状



細胞と神経線維の症状内容(分類)

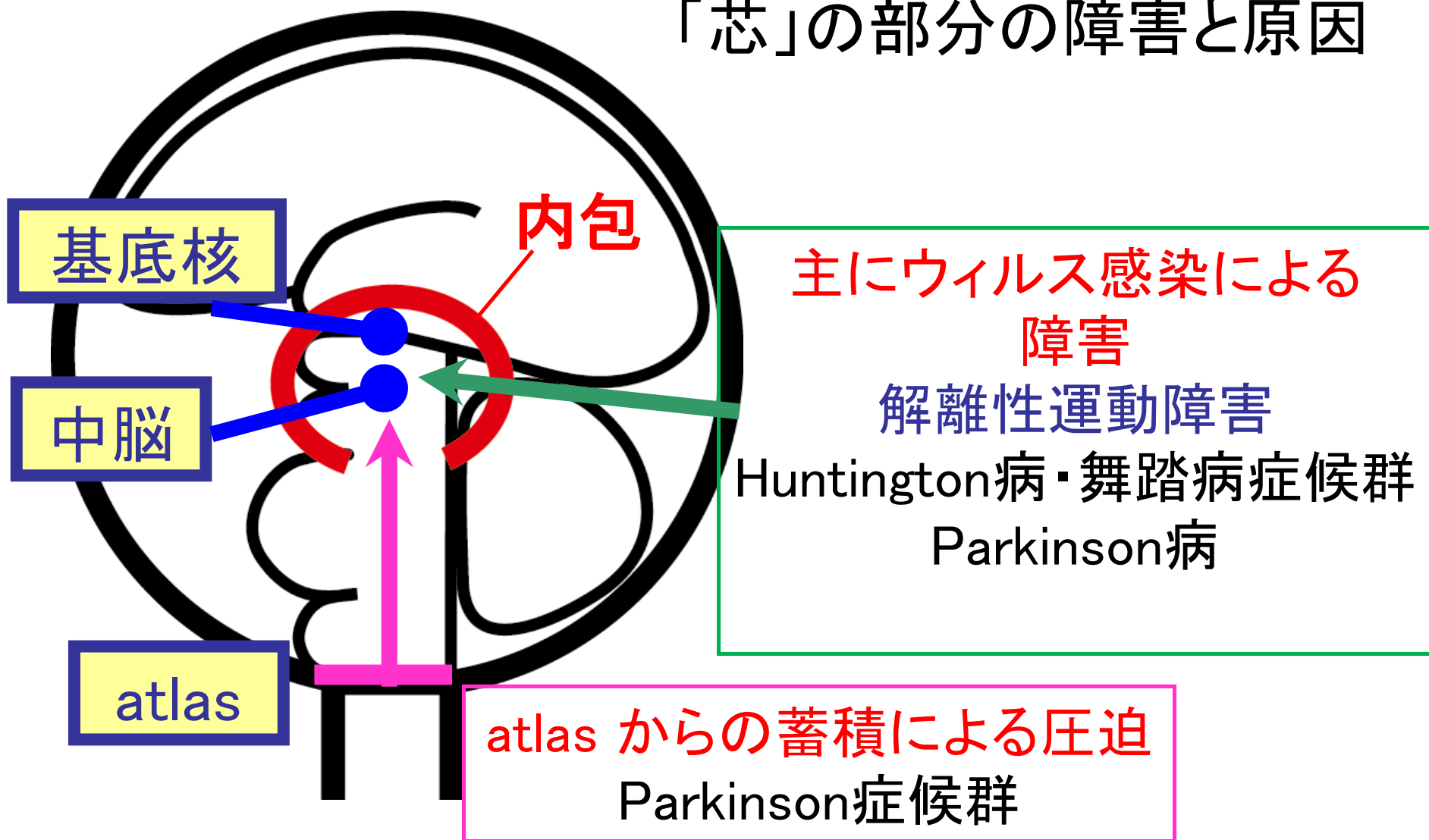



障害の病態解析

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
<ul style="list-style-type: none">①上位脳②下位脳③Spinal Cord 脊髄④Spinal Nerve 脊髄神経 – AyIII⑤Spinal Nerve 脊髄神経 - AxIII⑥Regional 区域的⑦Local 局所	<ul style="list-style-type: none">①神経線維②神経細胞	<ul style="list-style-type: none">①破壊②蓄積③不完全圧迫④完全圧迫	<ul style="list-style-type: none">①障害されたポイントによる症状②逆時計方向蓄積による症状③順時計方向による症状④蓄積による上の症状⑤遮断（圧迫）による下の症状

1. 下位脳～神経細胞

「芯」の部分の障害と原因





蓄積

蓄積症状

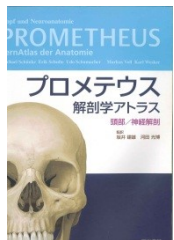
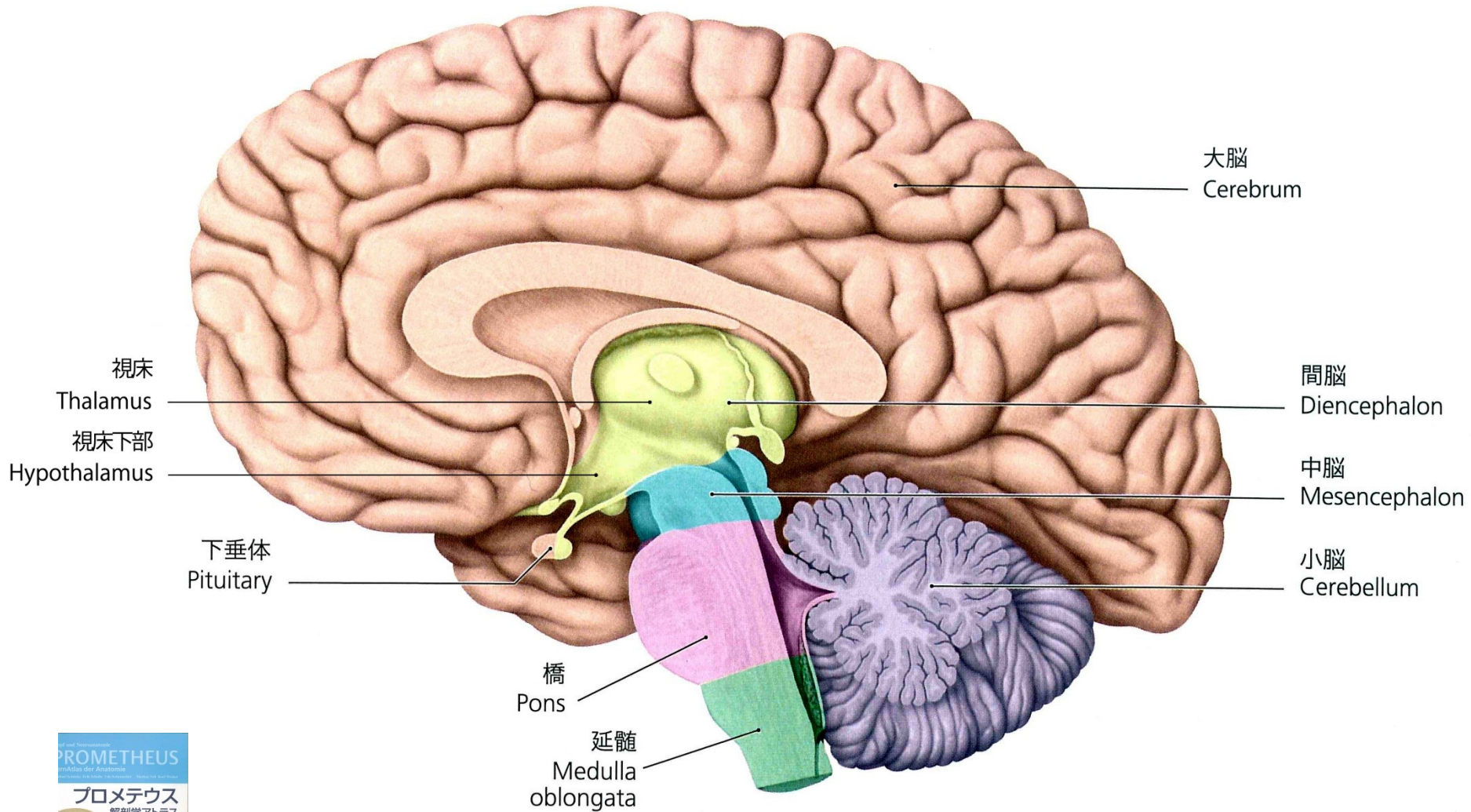
Atlasの障害に伴い「life flow」の流れが阻害されて起こる症状。
主に、次の3つで考える。

①髄液

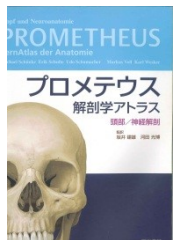
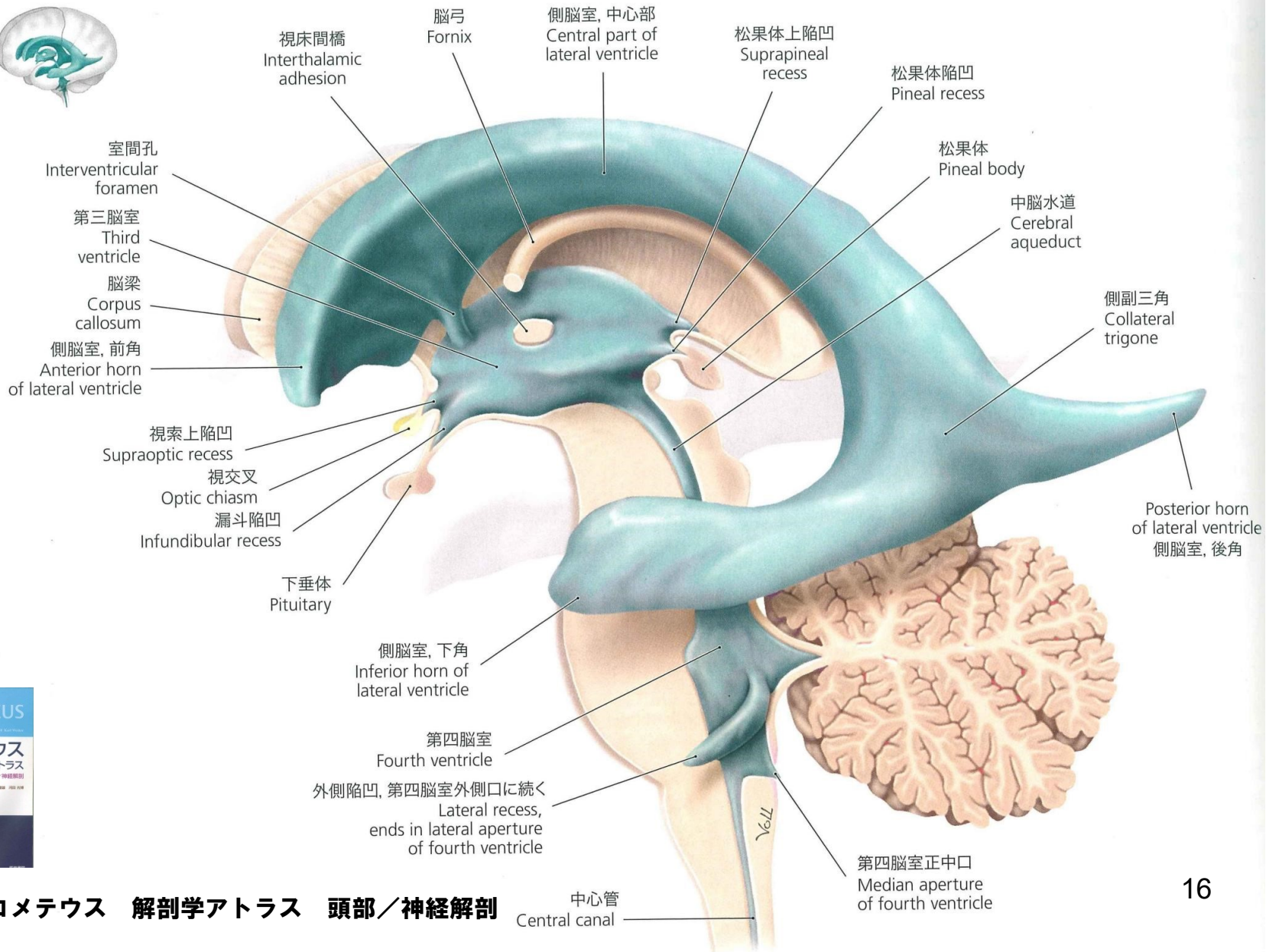
②リンパ

③血液

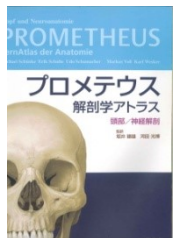
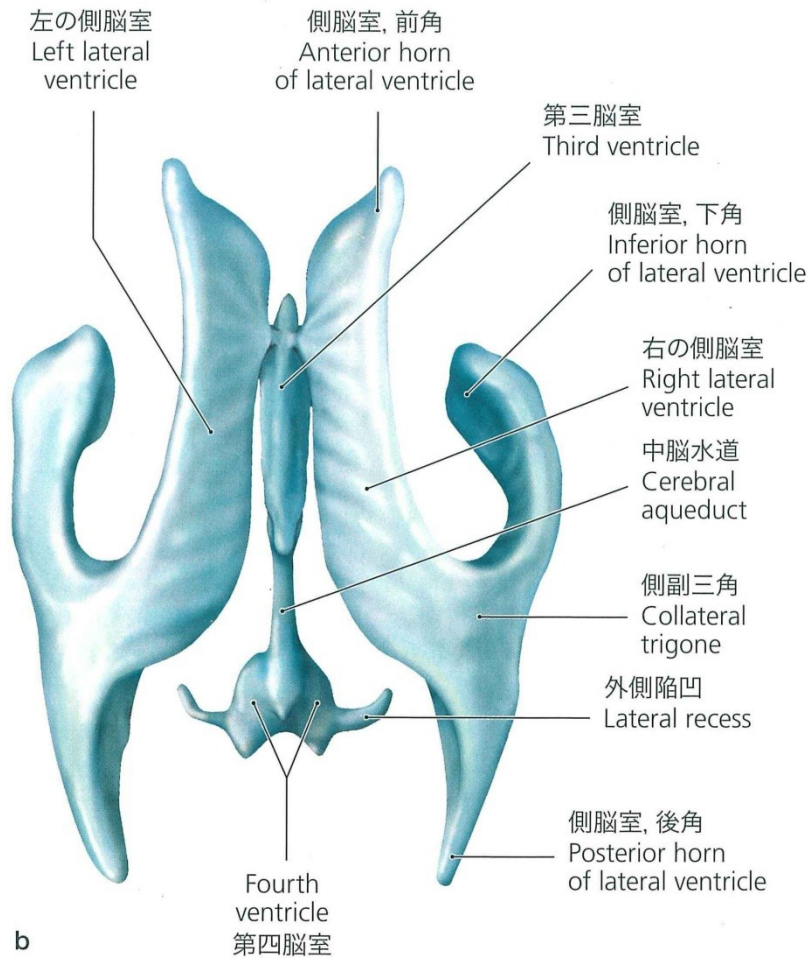
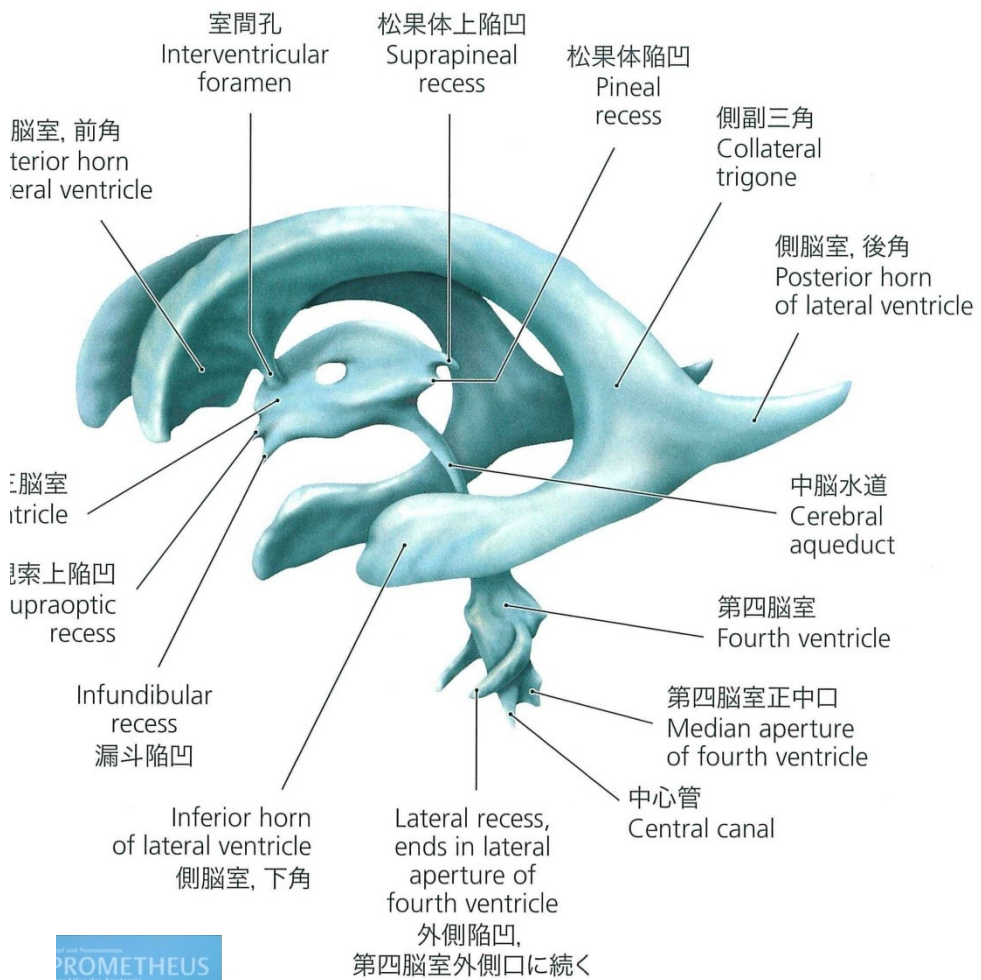
髄液の蓄積

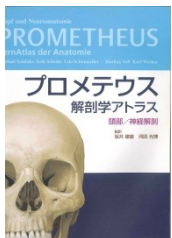
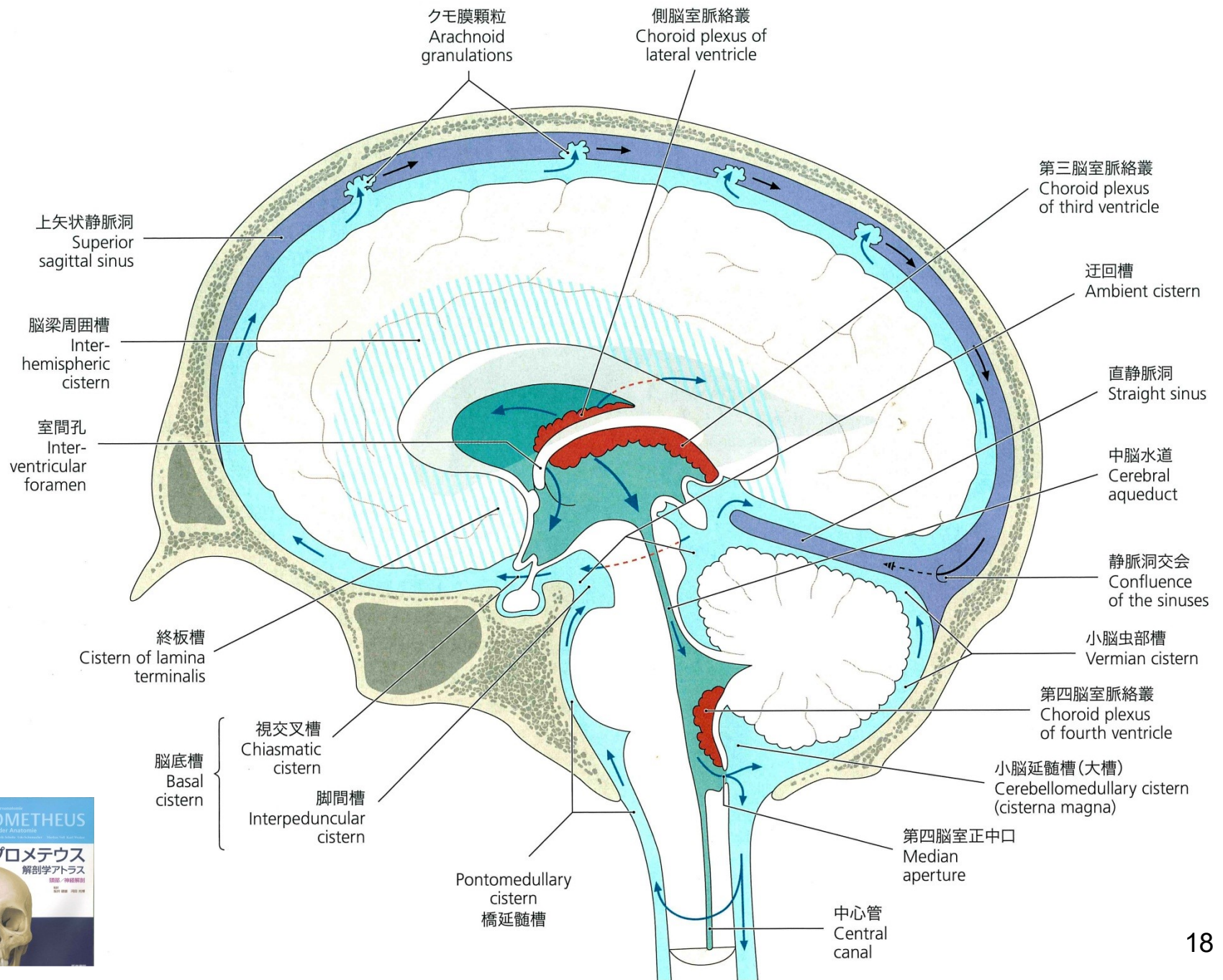


脳室系



脳室系





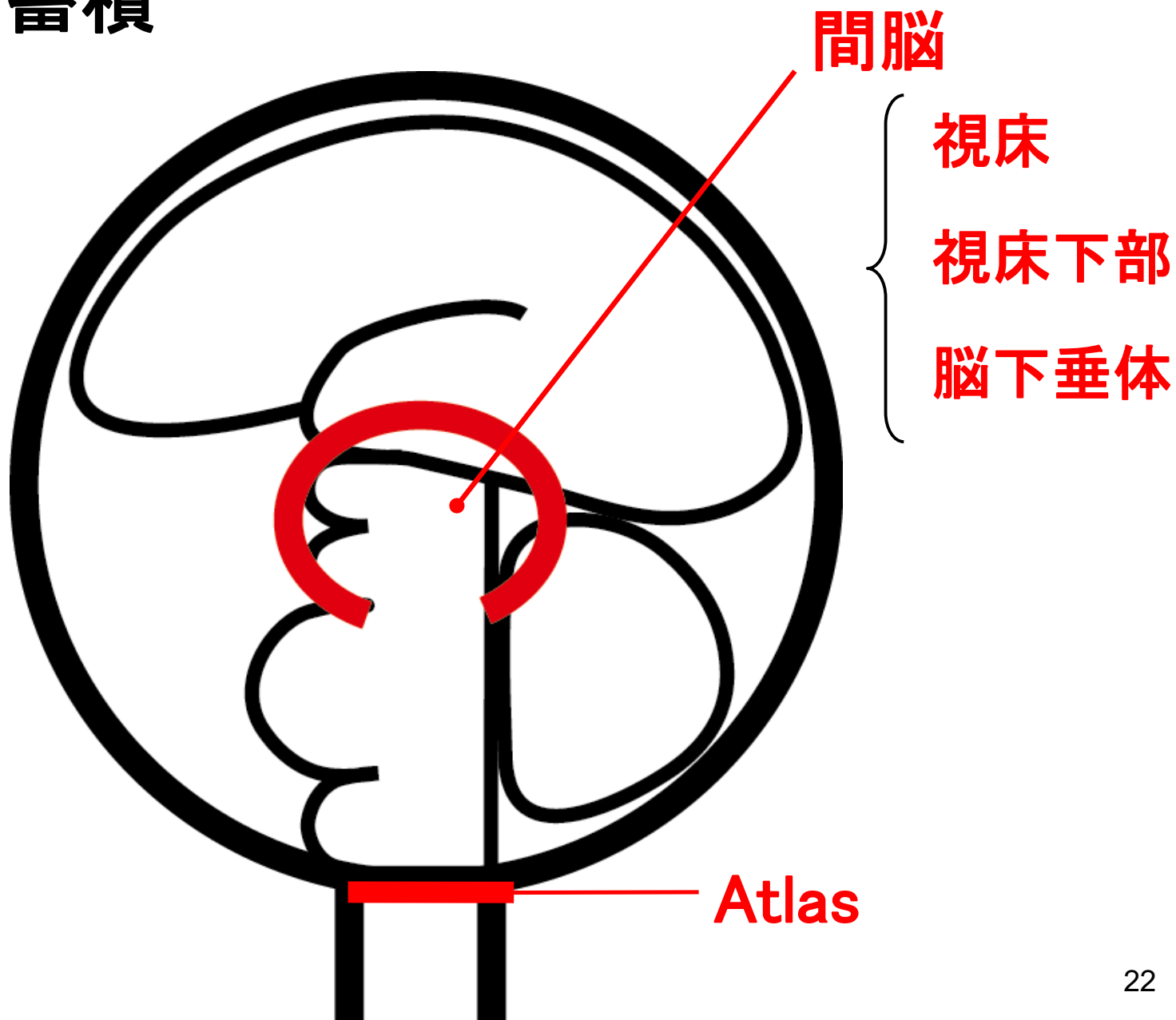
リンパの蓄積

リンパの蓄積症状

- ①リンパの産生・・・**胸腺**が中心
- ②atlasの炎症で同レベルでリンパの流れが圧迫
- ③atlasから上方へのリンパの流れが滞り、内耳を含めてリンパが薄くなる→**眩暈**(内耳神経関与)
頭蓋内の**免疫力の低下**→**脳腫瘍**の可能性↑
- ④側弯等でリンパが圧迫されると、そのレベルの**内臓に発癌**リスク↑

血液の蓄積

血液の蓄積



下位脳～間脳蓄積症状

症状1：眠りが浅い、寝つきが悪い

症状2：頭がボーっとする

症状3：集中力の低下

症状4：冷え症

症状5：情緒不安定、イライラしやすい、鬱

症状6：恐怖症、脅迫症

下位脳～間脳蓄積症状

症状7：目がちかちかして開けていられない

症状8：自律神経の失調

症状9：花粉症、アレルギー、アトピー

症状10：月経不順、月経痛

症状11：痤創（にきび）

症状12：両下肢の脱力、無表情

手足の冷えと痺れと麻痺の関係

1. **atlas**の炎症で**Ay III**が圧迫されると延髄(下方)から視床下部(上方)に向かって**血液の蓄積**が始まる。
2. まず**視床下部**の**下部後方**から**細胞蓄積**が起こり、**両手の冷え症**が出現し、徐々に**上部前方**へ蓄積が及ぶと、**両足の冷え症**も出てくることになる。
3. 視床下部の**上前方**に及んだ蓄積の**容量飽和度**が上がってくると**冷え症**が末梢側から始まる**両足→両手の痺れ**と変化する。
4. 更に容量飽和度が**閾値**を超えて**細胞圧迫**に変わると、視床下部が全体的に圧迫され**両下肢→両上肢**の**麻痺**が出現することになる。
5. 圧迫が延髄近傍まで及ぶと呼吸障害等が出現することになる
(**Guillain-Barré 症候群**)。治療は両側**Ay III / bc+c+a / bc+c+a**

下位脳細胞圧迫・破壊の症状

症状 1 : 意識消失

症状 2 : 顔面麻痺

症状 3 : 振戦

症状 4 : 呼吸困難

下位脳～細胞障害の症例

症例 1 : 意識障害

症例 2 : 味覚、嗅覚異常

症例 3 : 舌の右側への偏位

症例 4 : 右眼瞼下垂

症例 5 : 両足の脱力感

症例 6 : 空咳

症例 7 : 突然の右眼球運動不能

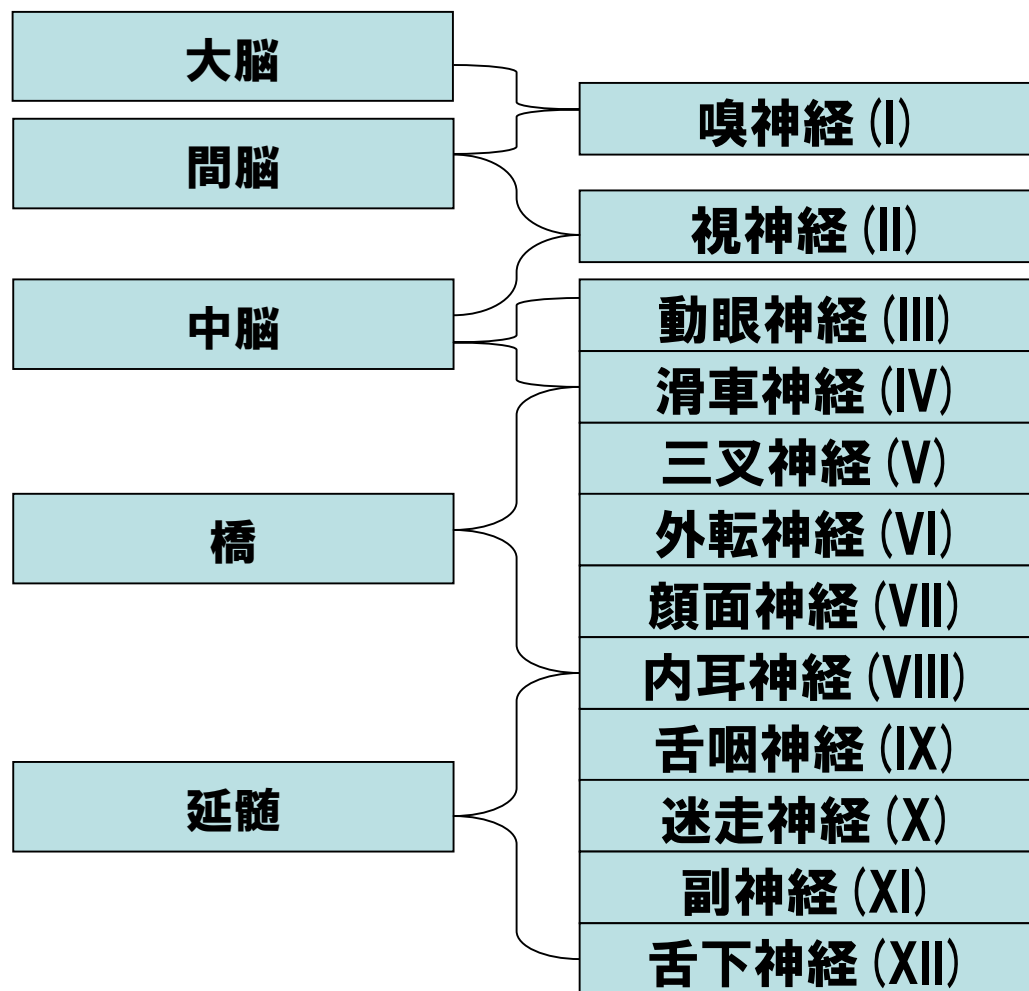
症例 8 : 右顔面の感覚異常

症例 9 : 右顔面の歪みと突っ張り感

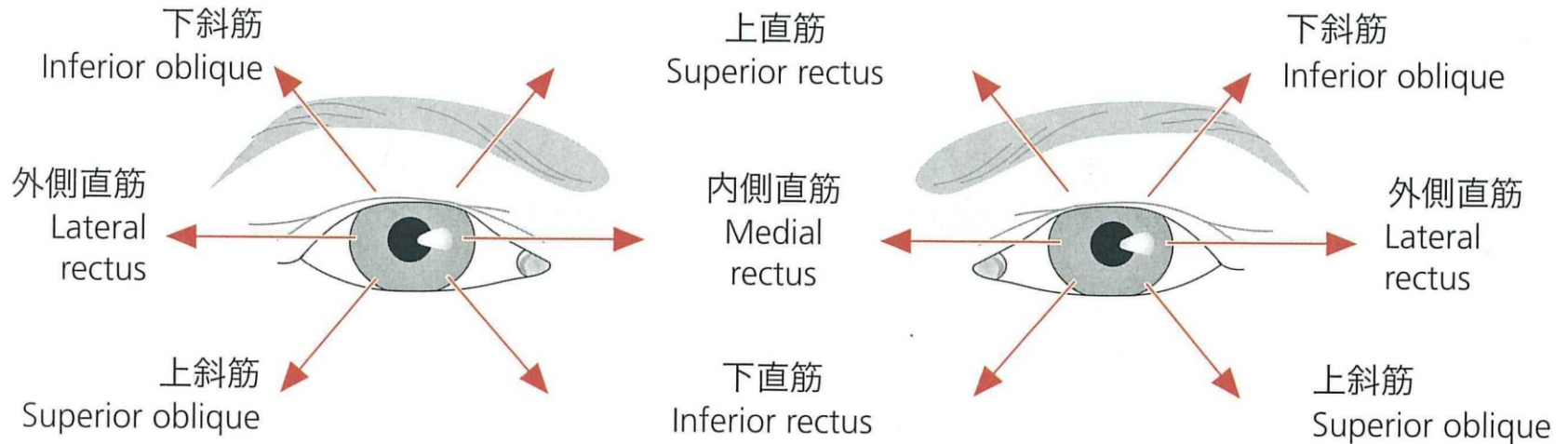
2. 下位脳～神経線維

下位脳～神経線維の障害

12対脳神経の同側部位に発生する障害



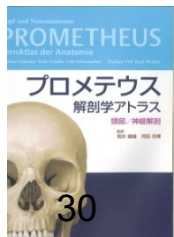
眼球運動と脳神経



動眼神経: 内側直筋、上直筋、下直筋、下斜筋

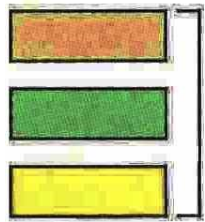
滑車神経: 上斜筋

外転神経: 外側直筋



顔面皮膚の感覚支配領域

「V・VII・IX・X」
が分布する領域

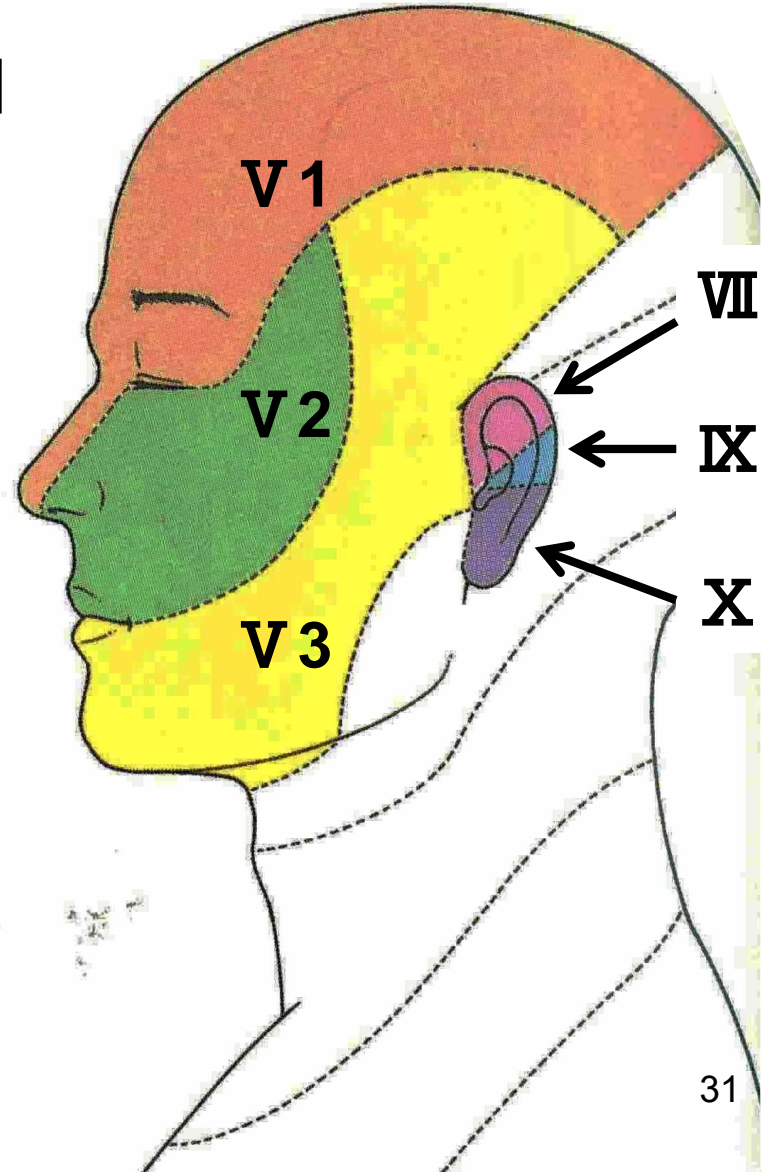


さんさしんけい
三叉神経が分布する領域

がんめんしんけい
顔面神経が分布する領域

ぜついんしんけい
舌咽神経が分布する領域

めいそうしんけい
迷走神経が分布する領域



中枢の概念

中枢の概念

1. 神経

2. 粘膜

3. 筋肉

4. 腺

の4つに分けて
考える

1. 神経

① 脊髄 Spinal Cord (SC)

視床

縦ライン

② 脊髄神経 Spinal Nerve (SN)

横ライン

2. 粘膜

孤束核 (VII・IX・X・XI)

障害されると、

気管支喘息 (疑核も関係)

空咳

ポリープ (胃・大腸・声帯 etc)

口腔粘膜の乾燥 (喉の違和感)

骨折 (骨膜の障害による)

外骨腫

等々

3. 筋肉

①強弱(収縮力) **疑核(Ⅸ・Ⅹ)**

すべての**括約筋**を支配

障害されると

気管支喘息(**孤束核**も関与)

便意のある便秘

残尿・放尿線の勢い減弱

胃液の食道への逆流 etc

②大小(範囲) **副神経(Ⅺ)**

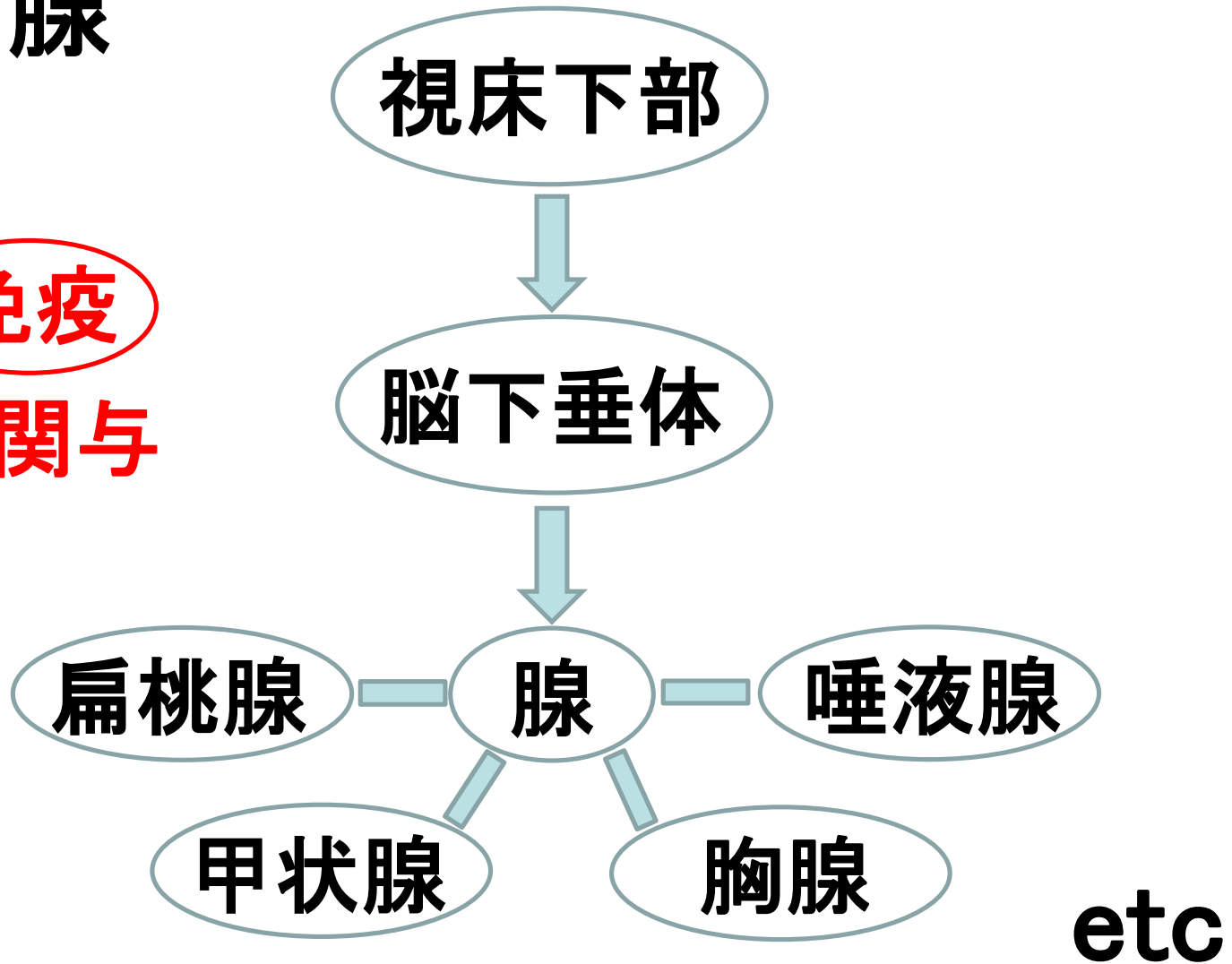
僧帽筋・胸鎖乳突筋を支配

障害されると

頭部後屈障害・斜頸 etc

4. 腺

免疫
に
関
与



神経線維の圧迫

下位脳～神経線維の圧迫

「第5・7・9・10・11脳神経」の
支配領域に Sharp Pain または
Dull Pain が発生する。

下位脳**神経線維**の**圧迫**の**症状**

症状 1 : 肩こり

症状 2 : 頸部後屈困難

症状 3 : 両上肢の挙上困難

下位脳**神経線維**の**圧迫**の**症状**

症状4：吐き気、胃痛、
腹部膨満感、胃ガス貯留

症状5：便秘、下痢

症状6：腹部の緊張低下

下位脳**神経線維**の**圧迫**の**症状**

症状 7 : 空咳

症状 8 : 息苦しさ、胸部の圧迫

症状 9 : 動悸

下位脳**神経線維の圧迫**の症状

症状 1 0 : 舌の偏位

症状 1 1 : 辛味の鈍麻

**症状 1 2 : 飲込み時の突っかかり
むせる・飲み込めない**

下位脳**神経線維の圧迫**の症状

症状 1 3 : 口渇、ドライアイ

症状 1 4 : 顔のつっぱり

症状 1 5 : 味覚異常 (甘味)

下位脳神経線維の圧迫の症状

症状 1 6 : めまい

症状 1 7 : 耳鳴り

症状 1 8 : 耳閉感

下位脳神経線維の圧迫の症状

症状 19 : 目の奥が痛い

症状 20 : 眼球運動障害

下位脳～**神経線維圧迫**の症例

症例 1 : 咀嚼後に右奥歯の重み (Dull Pain)

症例 2 : 右顔面の牽引痛

症例 3 : 舌の前2/3の痛みと重み

症例 4 : 空咳、喉の痒み (時々)

**症例 5 : 腰の重み、両下肢無力 (脱力感)、
背中痛、胃ガス貯留**

眼周辺の症状と脳神経

眼の奥の痛み

眼の重さ

ドライアイ

眼瞼痙攣

複視

眼振

神経線維の破壊

下位脳～**神経線維破壊**の特徴

「**第5・7・9・10・11脳神経**」の
支配領域に**触れない痛み**が発生する

下位脳**神経線維の破壊**の症状

症状 1 : 三叉神経痛

症状 2 : 頭部・耳より後ろの激痛

症状 3 : 全身の激痛

下位脳～**神経線維破壊**の症状

症状 1 : 額の激痛

**症状 2 : 右顔面に風が当たったり、
又は髪のに毛に触れると痛い**

症状 3 : 奥歯からの激痛

症状 4 : 頬、下顎の激痛

症状 5 : 全身の痛み

下位脳～**神経線維破壊**の症例

症例 1 : 右奥歯の痛み

**症例 2 : 右顔面が風当たる
又は髪の毛に触れると痛い**

症例 3 : 舌の前2/3の痛み、飲食できない

症例 4 : 背部全体の触れない痛み

症例 5 : 頸肩全体の触れない痛み、動かせない

神経線維の蓄積

下位脳～**神経線維の蓄積**

下位脳蓄積の主な原因は

「Atlas」からの**上行性の波及**
である。

下位脳～**神経線維蓄積**の症状

12対脳神経が支配する
神経末梢領域の**痒み**

下位脳～**神経線維蓄積**の症例

症例 1 : 両目の痒み

症例 2 : 重度の痤瘡(にきび)

症例 3 : 顔面の湿疹

症例 4 : 両手指、手掌に水疱(痒み)

症例 5 : アレルギー性皮膚炎

症例 6 : 花粉症

症例 44歳 女性

主訴 左奥歯の痛み、歯茎の痛み

病歴

出生時	帝王切開
5歳	小児喘息 花粉症
15歳	初潮後、強い生理痛
20歳	冷え症、下痢しやすい
25歳	子宮内膜症
30歳	うつ病
35歳	パニック障害
40歳	虫歯治療後、奥歯に激しい痛み出現
41歳	噛むと左奥歯に痛み、歯茎の痛み 舌のしびれ

症例 36歳 男性

主訴 両頸肩部痛 腰痛
吐気 倦怠感

病歴 13歳 蕁麻疹
20歳 腰痛
31歳 交通事故によるむちうち → 頸部痛
34歳 急性胃腸炎 下痢 脱水症
35歳
3月 交通事故で追突される
5月 頸部痛、腰痛
8月 めまい 吐気
10月 倦怠感 下痢

症例 37歳 女性

主訴 全身の痛み

病歴

出生時	難産
2歳	アデノイドop
3歳	アトピー性皮膚炎
10歳	両側頸肩痛
13歳	虫垂炎
25歳	十二指腸潰瘍
28歳	うつ病
29歳	子宮筋腫
30歳	全身倦怠感 → 線維筋痛症とDx
31歳	子宮筋腫に対して動脈塞栓術 → 子宮壊死 → 骨盤腹膜炎
32歳	頻尿
36歳	全身の痛み
37歳	目の奥の痛み

症例 70歳 女性

主訴 **パーキンソン病**
両下腿外側の痛みと痺れ 両足底の違和感

病歴

30歳 両下肢冷え症 両足底の違和感
40歳 両側 dry eye
57歳 手の脱力感、握力低下、左手の震え
58歳 パーキンソン病Dx → 投薬にて軽快
 その後四肢、体幹の震え出現、
 会話も遅くなった
60歳 匂いが分かりにくくなる
65歳 歩行時のふらつき
 片手で茶碗がもてなくなった
68歳 高血圧
70歳 下腿外側の痛み

症例 73歳 男性

主訴 膵臓癌

病歴

15歳	痔核
30代	急激な体重増加
60歳	体重10kg以上減少、花粉症
62歳	胃ポリープ
73歳	不眠、便秘、倦怠感
5月	胃の不調、腹痛
6月	エコーにて膵腫瘍の疑い 糖尿病疑い
7月	膵体部癌、糖尿病 診断